

RICOH REPORT

2023 冬号

RICOH
imagine. change.

証券コード：7752

Contents	1	トップインタビュー
	5	トピックス／株主様向け企画のご案内
裏表紙		IRメール配信登録のご案内／株主メモ



リコーは5年先、10年先にも、
お客様の生み出す力を支え続け、
お客様に「はたらく喜び」を
感じていただける企業を
目指します。

代表取締役
社長執行役員・CEO 大山 晃

01 2023年度上期の業績と今後の見通し、配当について教えてください。

世界経済は、欧米を中心としたインフレの長期化や金融引き締め政策の継続、ロシア・ウクライナ情勢などの地政学リスクの高まりなど、不安定な状態が続いています。

このような状況の中で、2023年度上期の売上高は11,125億円となり、前年同期比で14.3%増加しました。当社製品や商材の供給制約の解消や欧米での買収効果などによりオフィスサービス事業を中心に売上が増加したことに加えて、2022年9月に実施した株式会社PFUの連結子会社化や円安の影響などもあり増収となりました。当社のこだわる、オフィスサービス事

業でのストック売上の成長も順調であり、前年同期比21%増加と着実に収益基盤を築いています。一方で、複合機の販売台数が伸びず、一部事業で欧米の景気の弱含み影響を受けたことで、営業利益は前年同期で38億円減少し195億円となりました。

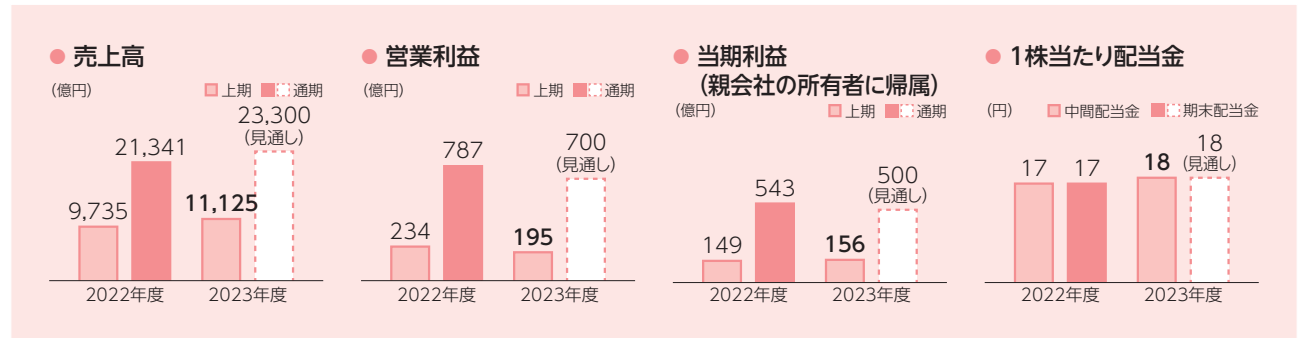
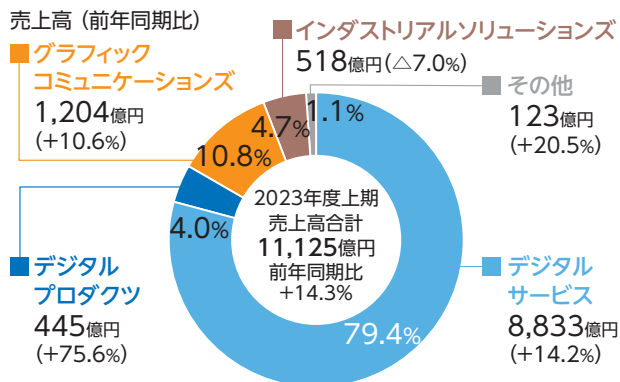
オフィスサービス事業を地域別にみると、日本ではお客様の総務や人事、経理業務などのバックオフィスやセキュリティ環境の構築を支援するソリューションなどが好調で、スクラムシリーズの売上が伸長しました。また、サイボウズ株式会社と共同開発した業務改善アプリケーション「RICOH kintone plus」の契約

数も伸長しています。米州ではCenero社の買収によるコミュニケーションサービス領域の成長などが貢献し、売上が増加しました。欧州では、一部のICT商材に景気の弱含みの影響がみられるものの、買収した会社を中心にサービス・ソリューションが好調に推移し、増収となりました。

2023年度通期の業績見通しは、上期の市場環境変化を踏まえて為替や各事業の前提条件を見直しましたが、営業利益は変更せず700億円を目指します。売上高は2023年5月発表の見通し2兆2,500億円から2兆3,300億円へ上方修正しました。

また2023年度の配当については、1株当たり2円増配の年間36円を予定し、中間配当は18円としました。

事業別売上高 ※外部顧客向け



02

デジタルサービスの会社への変革に向けた取り組みについて教えてください。

デジタルサービスの会社への変革に向けて、お客様への提供価値を生み出す力をさらに磨いていかなければ

ならないと考えています。デジタルサービスの会社は、本社で開発・生産を行い価値を創りこんでいた

けてきたリコーだからこそその強みがまさに生きてくる、また市場優位性につながる領域であると確信しています。

デジタルサービスの会社への変革には、社員の成長が不可欠です。当社では社員の能力やスキルを資本と捉え、人に対して積極的に投資をしていく人的資本戦略を策定しました。人的資本戦略には「自律」「成長」「はたらくに喜びを」の3つの柱があります。人的資本の基本的な考え方は、社員一人ひとりがはたらく喜びを実感し、それぞれのパフォーマンスを最大化させ、社員の成長と事業成長の同時実現を目指すこ

とです。全社員のデジタルスキルの底上げに加え、デジタルサービスの創出・加速に貢献するデジタル人材の専門性の向上を進めます。また、地域ごとの顧客接点から先進的なサービスを創り上げ、そのサービスをグローバルに展開することができる人材も強化します。デジタルサービスのビジネス経験者に対し、早期育成プログラムの実施や、複数のプロジェクトの経験、グローバルでの経験をさせることで将来の経営人材を育成するなど、人的資本の最大化を図っていきます。

03

PBR1倍割れが課題となっていますが、それに対する考えを教えてください。

企業価値の向上は重要な取り組みだと認識しており、社長就任後にPBR1倍以上の実現に向けたプロジェクトを発足し、上期決算発表の際に、その進捗報告を行いました。

当社のPBRが低迷している要因を、外部の専門家や株主と対話を行いながら分析し、最大の要因は収益性の低さにあり、デジタルサービスの会社へ変革するためにも、最重要課題として取り組む必要があると認識しました。収益構造変革プログラムとして、さまざまな収益改善施策を実施していきます。具体的には、今後も縮小を続けるオフィスプリンティング市場に対応すべく事業構造を変革し、継続的に収益性の改善を図

ります。経営資源は、働き方の変化により成長が見込め、また当社の強みである顧客基盤および顧客接点を活かすことができるワークプレイスの領域へ戦略的に配分していきます。研究開発投資の最適化や低収益事業の見直しも進めていきます。また、資本効率については、最適純資産を事業構造の変化に応じて柔軟に調整し、総還元性向*50%を目安とする継続的な増配や機動的な追加還元策を実施する従来方針を堅持します。

引き続き、継続的な企業価値向上に取り組み、デジタルサービスの会社への変革を実現してまいります。

* 総還元性向=(配当支払総額+自社株買い総額)÷純利益×100

トピックス

東芝テック株式会社との合併会社設立の基本合意

リコーと東芝テックは、両社の開発・生産に関する技術的な強みを持ち寄り、組成することを目指し、2024年4月から同年6月を目途に会社分割等の手続きを進める予定です。技術シナジーの創出による魅力ある製品の開発・

スケールメリットによるコスト競争力の強化・生産拠点の最適化による安定した製品供給の担保を目指してまいります。

カラープロダクションプリンター「RICOH Pro C9500」を新発売

「RICOH Pro C9500」は、トナー印刷特有のがさつきを抑えた高画質と、高速プリントスピード、連続稼働時の高い安定性が特徴です。今回、新たに採用した摺動(しゅうどう)定着方式*により、厚紙や凹凸紙に加え、40g/m²の薄紙にも対応可能となりました。また、商用印刷の現場の業務効率化のため、新たに開発した本体の制御システム「RICOH GC OS」により、さまざまな用紙の設定や調整、

機器の利用状況やメンテナンスの管理に、特別なスキルが不要となることで、現場のDXを支援します。

* 摺動定着方式とは、リコーが新たに開発した定着方式です。定着時に用紙を滑らかに通過させることで、用紙にかかるストレスを抑え、均一に熱と圧力を加えることができます。



詳しくはこちらをご覧ください▶

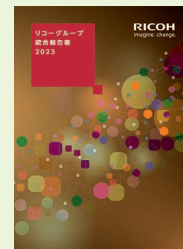
https://jp.ricoh.com/release/2023/0725_1



ESG TOPICS

「リコーグループ統合報告書2023」、「TCFDレポート」、
「サーキュラーエコノミーレポート」および「ESGデータブック」を発行
～4つの報告書の特性を活かした情報開示やステークホルダーとの対話を推進～

ESG投資への関心の高まりと企業への情報開示拡充の期待を受けて、9月6日に4つの報告書を同時発行しました。株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、リコーグループの中長期的な展望や企業価値向上に向けた取り組みの全体像、環境・社会・ガバナンスに関する具体的な取り組みやデータなどの詳細情報をお伝えしています。今後も積極的な情報開示を進め、リコーグループへの理解を深めていただくとともに、経営品質を向上し、事業成長を図ることで、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。



詳しくはこちらをご覧ください▶

https://jp.ricoh.com/info/2023/0906_2



株主様向け企画のご案内

当社の企業活動をご理解いただくことを目的に、株主優待・企画を行っています。[基準日：2023年9月末]

①【抽選】オンライン生産事業所見学会

開催内容

当社はグローバルの各地域に主要生産拠点を有し、それぞれの地域の要望に応えるサプライチェーンを実現し地域のお客様を支えています。
左記でご紹介した[RICOH Pro C9500]の生産拠点でもあり、さまざまな場面でデジタルデータの活用を積極的に生産活動へ活かしているリコーインダストリー(株)東北事業所よりライブ中継し、デジタル活用の取り組みをご紹介します。この見学会を通じてリコーのものづくりをご体験ください。

DXで進化するリコーの生産現場力



リコーインダストリー(株)東北事業所

開催日

2024年1月11日(木)午後 オンライン方式 1時間程度の予定

対象者

当社株式を単元(100株)以上保有されている株主様(100名様)

※100名様以上のお申し込みがあった場合は、抽選とします。

※ご当選者のみ、お申し込みの際にご登録いただいたメールアドレス宛にご案内します。

応募要領

当社ウェブサイトの専用応募ページよりお申し込みください。

URL ▶ https://webform.ricoh.com/form/pub/e00034/ir_event



応募締切

2023年12月13日(水)24時まで

②【全株主様】優待販売のご案内

内容

リコーイメージング(株)製品(カメラなど)の優待販売

対象者

当社株式を保有されている全株主様

応募要領

同封の優待販売のチラシをご覧ください。

「リコー IR」で検索し、IRウェブサイトへ

リコー IR **検索**

IRメール配信登録のご案内

株主の皆様へ決算情報やニュースリリース、そのほかのIR情報を電子メールでお知らせしています。ご希望の方は、当社IRウェブサイトよりご登録の手続きをお願いします。

[こちらよりご覧ください](#)

※ 本サービスは携帯電話メールには対応していません。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、特別口座にて株式を管理されていらっしゃる株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

●「配当金領収証」の送付について

従来、配当金のお支払金額が5万円以上の場合に簡易書留で郵送させていただいておりましたが、2020年9月30日基準の中間配当金の送付より、配当金のお支払金額が10万1円以上の場合に簡易書留での郵送とすることに变更させていただきました。

株式会社リコー

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

